

令和8年第1回大崎市議会定例会会派代表質問発言通告書

発言順	議席番号	氏名	発言事項	持ち時間
1	6	<p>新生会</p> <p>法華栄喜</p>	<p>大綱1 大崎市政20年の振り返りについて</p> <p>(1) 市政20年をどのように総括するのか伺う</p> <p>(2) 地域自治組織や行政区長制度などの地域運営における将来的課題は何か伺う</p> <p>大綱2 上流域の森林保全について</p> <p>(1) 上流域の森林は、大崎耕土を支える重要な水源林であるにも関わらず、過疎化により私有林を中心に管理放棄が進んでいる。今後、流域治水の視点から下流域や国有林と連携した林業振興をどのように進め、過疎地域持続的発展計画でどのように踏み込んで進めていくのか伺う</p> <p>大綱3 令和8年度の持続可能な農業の課題と展望について</p> <p>(1) 厳しい財政状況の中で、令和8年度にどのような後継者育成支援体制を構築するのか伺う</p> <p>(2) 米価の安定と需給調整に向けて、本市がどのように生産調整に取り組むのか伺う</p> <p>(3) 主食用米価格の上昇により飼料用米の作付面積が大きく減少している。飼料用米の生産をどのように位置づけ、今後どう対応していくのか伺う</p> <p>(4) 高温耐性品種の作付や、今後の品種選定をどのように考えているのか伺う</p> <p>(5) 輸出米の取組方針と、今後の展望をどのように考えているのか伺う</p> <p>大綱4 シビックプライドの醸成と伝統文化の継承について</p> <p>(1) 祭り・イベント等の地域団体への支援内容と、施設の有効活用や事務支援強化など今後の運営支援の方向性について伺う</p> <p>(2) 行政の伴走型支援や部局横断体制、地域間連携、外部人材等との協働による持続可能なサポート体制の構築方針を伺う</p> <p>(3) 閉校した学校など市有施設の活用や、地域と対話を重ねながらの支援へ転換していく考えがあるのか伺う</p> <p>大綱5 文化施設と世界農業遺産の拠点施設について</p> <p>(1) 美術館や博物館の整備計画についての考えを伺う</p> <p>(2) 世界農業遺産の拠点施設整備の考えを伺う</p> <p>大綱6 中心市街地活性化推進事業について</p> <p>(1) J R 古川駅周辺の活性化に関する研究会活動の進捗状況、今後の支援について伺う</p> <p>(2) 古川駅構内の取組について、J R とのコミュニケーション状況、スケジュールについて伺う</p> <p>(3) 県知事が表明した、ローコストアリーナの誘致について伺う</p>	90分

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項	持ち 時間
2	7	創新会 石田政博	<p>大綱7 「子供の遊び場」屋内遊戯施設について</p> <p>(1) 既存の子育て支援施設の運用強化や利用率向上に向けた具体的な人的・物的対応策について、市の考えを伺う</p> <p>大綱8 5歳児就学前相談モデル事業の本格化について</p> <p>(1) 現在の実施状況や運用実態、得られている成果と市の評価を伺う</p> <p>(2) マンパワー、財源、医療体制など、これまで指摘されてきた課題への改善状況と今後の対応方針について伺う</p> <p>(3) 本事業を一過性に終わらせず、本格実施として全市的に展開するための時期や体制、段階的計画について伺う</p> <p>(4) 保育・教育・福祉・保健・医療機関が連携し、就学前から就学後まで切れ目のない支援を実現する仕組みづくりの認識と考えを伺う</p> <p>大綱9 国道4号竹の花以北の改修計画について</p> <p>(1) 今後予定されている工事の具体的内容や進捗見通しを伺う</p> <p>(2) 地域住民への工事内容の周知方法、さらに国の事業に付随して関係する市道整備など、本市の対応方針について伺う</p> <p>大綱1 市政20年の総括と課題について</p> <p>(1) 市政20年の評価と課題について</p> <p>ア 大崎市政20年の歩みを振り返り、良かった点や評価すべき点と摘み残した課題について、またその課題をどう解決していくのか、所見を伺う</p> <p>(2) 旧1市6町の特性を生かしたまちづくりについて</p> <p>ア これまでの20年という時間をかけても、大崎市としての一体感を醸成することは難しい課題だった。これまでの方向性から脱却し、それぞれの特性を生かしたまちづくりへと転換するタイミングなのではないかと考えるが、所見を伺う</p> <p>大綱2 行財政改革について</p> <p>(1) 新たな収入確保策について</p> <p>ア 自治体として新たな収入を得るために、ふるさと納税だけに頼らない仕組みづくりが必要である。大崎市の豊かな自然景観や郷土料理、米や野菜、温もりのある人間性など、我々にとって当たり前のものを再定義し、お金を生み出す宝物として売り込み、発信する必要がある。市としてどのような収入確保策を考えているのか、所見を伺う</p> <p>(2) 自治体経営の在り方について</p> <p>ア 自治体経営はもはや民間発想化を進めていかなければ生き残れない。これまでの仕組みを抜本的に変え、大崎市を会社のように経営し、戦略的な考えを持って取り組む必要があるが、市の経営を今後どのように進めていくのか、所見を伺う</p> <p>(3) 稼げる自治体の実現について</p>	75分

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項	持ち 時間
			<p>ア 稼げる自治体の実現には民間の協力が欠かせない。自治体はあくまでもプラットフォームであり、民間企業や地域団体が実行主体となって連携する共創モデルの確立が必要である。また、ただ稼ぐだけではなく、大崎市に行きたい、住みたい、応援したいと思っただけのようなストーリー性がなければ、勢いの持続は難しい。その核となるストーリーは行政として何だと考え、どのように進めるのか所見を伺う</p> <p>大綱3 教育行政について</p> <p>(1) コミュニティ・スクールについて</p> <p>ア 本市の事業目的は大変素晴らしいが、それを具体的にどう進めていくか、どう協力を求めていくかが具体的に見えてこない。全国の例に目を向ければ、「年に数回集まるだけ」「校長の報告を聞くだけで意見が反映されない」「委員も何をしていいかわからない」「特定の人に支配される」「教員の負担が増えただけ」など、失敗例を挙げれば切りがない。コミュニティ・スクールは、現在の学校評議員の延長線上の組織になっては意義が薄まる。全国の失敗例に学び、事業目的を達成するために、学校がやりたくてもできないことを地域が支える、学校応援団のような位置づけにして様々な世代に関わっていただき、コロナ禍で離れてしまった学校と地域との関係性を再構築できるような仕組みづくりが必要と考えるが、所見を伺う</p> <p>(2) 学校支援員について</p> <p>ア 授業妨害、授業離脱、問題行動が増加している現状を踏まえ、学校支援員で加配要望を受けることが増えているが、対応としてどう考えているか伺う。 また、休職中の教員研修や児童生徒の指導の方針を伺う</p> <p>大綱4 大崎市における休日の部活動地域展開（地域クラブ活動）について</p> <p>(1) 休日部活動地域移行推進について</p> <p>ア 大崎市休日部活動地域移行推進計画では、令和7年度まで移行推進期間としているが、令和7年度までのモデル事業の実施を踏まえ、地域展開の効果の実証をどのように捉えているか、所見を伺う</p> <p>イ 令和8年度以降の展開に向けて大崎圏域の他町との連携、地域クラブの設立支援、各中学校及び義務教育学校と地域クラブの連携、高等学校等との連携による地域展開に向けた取組について所見を伺う</p> <p>大綱5 地域自治組織の在り方と今後の方向性について</p> <p>(1) 地域自治組織の検証と方向性について</p> <p>ア 各まちづくり協議会は後継者不足などの課題があり事業の固定化が課題だが、今後の支援体制と課題の整理、検証について伺う</p> <p>イ 大崎市流地域自治組織の見直し時期にあると思うが、在り方の再構築への所見を伺う</p> <p>大綱6 人財育成の取組について</p> <p>(1) 大崎市人財育成アクションプランの進捗</p>	

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項	持ち 時間
			<p>ア 社会情勢の変化や国の制度改正を踏まえ、本市でも定員管理計画による職員配置やその役割などを見直し、ますます多様化する市民ニーズへの柔軟な対応が必要となっているが、大崎市人財育成アクションプランで進める、目指す職員の姿を実現する取組の進捗状況と課題について伺う</p> <p>イ 職員意識調査の実施と反映は、この大崎市人財育成アクションプランの検証や見直しにおいても大変重要だと考えるが、意識調査の実施頻度と計画への反映状況について伺う</p> <p>大綱 7 JR陸羽東線の活用について</p> <p>(1) JR陸羽東線利活用の実績と今後の取組について</p> <p>ア 大崎市が募集する形で、企画列車、ラッピング等についてJRに要望、提案ができないか所見を伺う</p> <p>大綱 8 病院事業の現状と課題について</p> <p>(1) 市民病院の経営について</p> <p>ア 自治体病院として本院の収支とその他分院、診療所運営経費の補填状況について、診療報酬の改定、収益向上と給与費の増加や薬価の高騰とのバランスからどのように見通しているか伺う</p> <p>(2) 地域医療機関との連携について</p> <p>ア 2040年問題を念頭に、本院と地域医療機関（医師会等）との機能分化や連携強化（紹介、逆紹介等）が必要だが取組の進捗と課題について伺う</p> <p>大綱 9 福祉行政について</p> <p>(1) 訪問看護・介護の現場について</p> <p>ア 訪問介護・看護の現状は厳しくなる一方であり、国の制度改革のスピードに現場が追いついていけない現状がある。通所介護事業者に対する訪問機能追加の支援策も国から講じられるが、その人員をどう確保するかが現場では課題とされている。人材紹介業者を通して確保するものの経費がかさみ、経営を圧迫する状況は負のスパイラルを発生させている。行政としての対策や支援策について、所見を伺う</p> <p>(2) 大崎西部の訪問介護事業への支援策について</p> <p>ア 大崎西部の訪問介護事業への支援の在り方について、現状のままでは撤退せざるを得ない状況を迎えることは明白であり、行政として何らかの策を講じるべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>(3) ガイドヘルパーの人材確保策について</p> <p>ア ガイドヘルパーの数が足りておらず、障がい者の方々は通院したくてもできない状況にある。講習を受けたくても会場は仙台市のみであり、休暇を取って講習を受けるということは現場から人員が削られ、本人も給料がもらえない上に講習費用がかかるという現実から受講者が増えないのだと推察する。何らかの対策や支援策が必要と考えるが、市の所見を伺う</p> <p>大綱 10 商工産業振興策について</p> <p>(1) 企業誘致について</p>	

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項	持ち 時間
			<p>ア 業種を絞って誘致を進める視点も大切と考える。大崎市には国道、高速道路、新幹線と交通アクセスに非常に有利な条件がそろっているため、物流に特化した誘致の可能性もあると考えるが、物流業が求めるニーズの調査やアプローチは行っているのか。あわせて、インランドポートの実現可能性についても伺う</p> <p>(2) IT集積について</p> <p>ア 熊本県葦北町のように、廃校を利活用してサテライトオフィスに転用し、集積型企業誘致に成功した事例もあるが、本市でも廃校を有効に利活用するとともに、豊かな自然環境を生かして地域と交流できる仕組みをつくり、アピールすべきと考えるが所見を伺う</p> <p>大綱 1 1 鳥獣被害対策について</p> <p>(1) クマ対策について</p> <p>ア クマの目撃件数は過去最多を記録し、鳴子温泉地域では人身被害も発生し、緊急事態宣言も発令された。本市ではクマ対策として柿の木等の伐採希望者に対して伐採処分を行ったが、その状況について所見を伺う。また、市内の企業からクマ対策としての箱わなの寄贈を受けたが今後のクマ対策としてどのように活用していく計画なのか、所見を伺う</p> <p>(2) ジビエ活用について</p> <p>ア 市内道の駅での販売のみならず、市内の飲食店・宿泊施設を対象にジビエの知識や取扱い方法、適切な調理法を学ぶおおさきジビエ料理教室の開催やジビエの郷おおさき公式オンラインショップを開設したが、それぞれの事業を開始するまでの経過と今後の展開について所見を伺う</p> <p>大綱 1 2 空き家対策について</p> <p>(1) 空き家対策について</p> <p>ア 各課の空き家関連施策を連携・活用し、さらなる空き家対策を進めるために、施策の広報周知はもとより検証や見直しを図っているか伺う</p> <p>イ 空き家解消につながる方策として、移住支援も含めた空き家活用、具体的には空き家バンクでの低廉家賃物件紹介や古民家再生物件への支援等も有効だと考えるが、所見を伺う</p> <p>大綱 1 3 世界農業遺産のさらなる利活用策について</p> <p>(1) 世界農業遺産の活用策について</p> <p>ア 世界農業遺産に認定された大崎耕土を構成する圏域1市4町が、ともに連携し取り組んできた、第2期の最終年度を迎える。地域関係団体が一体となり大崎耕土の価値や認知度向上につながる取組を推進してきたが、なお、圏域市町の資源を共有し今後のさらなる人事交流の成果、課題を伺う</p> <p>イ 都市と農村の交流を目的とした姉妹都市台東区等との教育旅行の実績と効果、課題、推進策について所見を伺う。また、これを市民交流につなげる考えについて伺う</p>	
3	12	改新クラブ 八木吉夫	<p>大綱 1 市政運営について</p> <p>(1) 今後の大崎市の目指す姿と重点課題について伺う</p>	60分

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項	持ち 時間
			<p>大綱 2 令和 8 年度当初予算及び財政について</p> <p>(1) 予算編成について意を用いた点について伺う</p> <p>(2) 徹底した事業の見直し、スクラップを推進することを予算編成方針に掲げたが、どの程度実現したか具体的な数字を伺う</p> <p>(3) 歳入増（一般財源増）に向けた具体的な取組内容について伺う</p> <p>(4) 財政危機からの脱却について伺う</p> <p>大綱 3 再生可能エネルギーを活用した産業振興について</p> <p>(1) 再生可能エネルギー利活用策の今後の進展について伺う</p> <p>(2) これまでも提言してきた小水力発電の事業化に向けた検討は、どの程度進んでいるのか伺う</p> <p>(3) 大崎地域広域行政事務組合の西地区熱回収施設で余剰となった熱を利用した地域振興、農業振興策について伺う</p> <p>(4) 用水確保のための、ため池等からのポンプアップに必要な電力を生む太陽光発電設備の設置助成について、所見を伺う</p> <p>大綱 4 農業振興について</p> <p>(1) 中山間地の基盤整備事業への助成について、所見を伺う</p> <p>大綱 5 ローコストアリーナ構想誘致について</p> <p>(1) 村井宮城県知事が公約として打ち出した構想に対し、伊藤市長が定例記者会見で前向きな姿勢を打ち出したが、所見を伺う</p> <p>大綱 6 楽天 2 軍練習場誘致について</p> <p>(1) 東北楽天ゴールデンイーグルスは、2 軍練習場移転を検討しているとの報道があった。本市への誘致は様々なメリットがあるが、誘致に対する所見を伺う</p> <p>大綱 7 有害鳥獣駆除対策について</p> <p>(1) クマ対策強化に向け、新年度の取組について伺う</p> <p>(2) 高齢化等により銃猟免許所持者が減少しており、新たな免許所持者の育成が急務と考えるが、所見を伺う</p> <p>(3) 放任果樹の伐採に対し、市が伐採から処分まで対応する予算 4 億円が見込まれているが、所有者へ伐採に対する補助金を交付し自助努力を促すことも一考の余地があるが、所見を伺う</p> <p>大綱 8 地域公共交通について</p> <p>(1) J R 陸羽東線の利用促進の取り組みに反して、令和 6 年度の古川一鳴子温泉間の平均通過人員が低下しているが、令和 8 年度の取組はどのように進めるのか、所見を伺う</p> <p>(2) 課題となっている自宅から駅及び駅から目的地間の二次交通の充実の取組について伺う</p>	

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項	持ち 時間
4	16	大志会 相澤久義	<p>(3) 元気なお年寄りが、外出時に地域公共交通をさらに使いやすくするために、小人料金と同様の半額割引を導入すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>大綱1 防災道の駅としての三本木やまなみの展望について</p> <p>(1) 国からの選定を受け一朝有事の際に求められる機能、装備に自治体の意見・要望はどの程度取り入れられるのか伺う</p> <p>(2) 防災道の駅に選定されたことを大崎市はどのように捉え、どう事業展開していくのか伺う</p> <p>(3) 東日本大震災や平成27年関東東北豪雨災害、令和元年東日本台風被害等経験から得た防災道の駅三本木としての教訓、課題は何か。それらの課題解決にどう取り組まれているのか伺う</p> <p>(4) 道の駅三本木やまなみは、車140台駐車できる駐車場、テント、懐中電灯などの備蓄品が保管され、非常用電源設備や貯水槽（50トン）、公衆電話、マンホールトイレなど災害時の対応設備があり、地域住民や通行者が災害時に一時的な避難、情報取得、支援の拠点として利用できるような体制が整えられているが、近い将来予測される大規模災害時には、広域支援拠点としての役割を担う道の駅として十分なのか伺う</p> <p>(5) 宮城県の防災道の駅指定は三本木やまなみ1か所だが、現在の設備や機能の不足する部分は、今後どのように整備が進められていくのか伺う</p> <p>(6) 東北エリアの防災拠点としてケーエス三本木パークゴルフ場周辺の県有地が候補に挙がっているが、国道4号、東北自動車道が交わる交通の要衝として、十分な面積があり 東北エリアはもちろん、全国に向けての災害時の救援物資の保管施設等兼ね備えた場所として、県と連携をした大規模防災拠点施設の整備に向けた考えはないのか伺う</p> <p>(7) 市の防災訓練とは別に広域的な大規模災害を想定した定期的な防災道の駅としての防災訓練を県や自衛隊、警察、消防等はもちろん、東北の防災道の駅に選定される各道の駅、県境をまたいだ隣接自治体や沿岸部の自治体、民間企業や国土交通省と連携した企画、計画をして、国へアピールすべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>(8) 三本木地域には、近年新たに企業進出の声が上がっている。国道108号古川東バイパスの開通により石巻方面からの三本木スマートインターへの交通の利便性が向上し、利用台数の向上も見られる。防災機能はもちろんだが産業振興の向上にもつながる、スマートインターから本格的な三本木インターへの昇格、機能拡充に向けた要望活動・行動が必要と考えるが、所見を伺う</p> <p>大綱2 財政難を理由に凍結になった建設計画について</p> <p>(1) 財政難から計画が中止された大規模改修事業計画の事業数を伺う</p> <p>(2) 再開の道筋はあるのか。何年度に再開されるのか伺う</p> <p>(3) 優先順位はあるのか伺う</p> <p>大綱3 社会問題となっている精神疾患者の救済と雇用について</p> <p>(1) 全国には精神疾患者600万人と言われているが、大崎市内には何人、何世帯と把握しているのか伺う</p> <p>(2) 悩みを抱える家族などへの相談体制について伺う</p>	60分

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項	持ち 時間
5	25	日本共産党大崎市議会議員団 小沢和悦	<p>(3) 令和8年度はどのような支援事業を行うのか伺う</p> <p>(4) 社会参加促進に向け、カウンセラー、医師会、大崎市社協、民生委員、関係機関・団体、福祉施設等官民連携強化を図り、協議会などを立ち上げ、1人でも多くの方が社会復帰できるような仕組みづくりを市が主体となって進めることを願うものだが、所見を伺う</p> <p>大綱1 「平和希求のまち大崎市宣言」と米国による乱暴なベネズエラ侵略への抗議表明について</p> <p>(1) 米国のベネズエラへの一方的侵攻等は力による現状変更ではないのか、平和希求のまちを宣言する市の見解を伺う</p> <p>(2) 「私に国際法は必要ない」とするトランプ大統領の姿勢は、法の支配する国際秩序を否定し、力が支配する世界への危険な逆行ではないのか、市として抗議表明する意思があるのか伺う</p> <p>大綱2 学校給食の無償化について</p> <p>(1) 新年度からの小学校給食無償化と中学校の段階的無償化に向けた努力について伺う</p> <p>大綱3 中学生以下の児童へのインフルエンザ予防接種を無料実施することについて</p> <p>(1) 令和7年度のインフルエンザ大流行による学校教育及び家庭生活への重大な影響と、大崎市として多額の財政負担への反省に立った決断が必要ではないのか伺う</p> <p>大綱4 大崎市内農村部の訪問介護体制の現状と保険者たる大崎市の責任ある対応について</p> <p>(1) 現在の危機的状況への認識に問題があるため、必要な打開策もないのではないのか伺う</p> <p>(2) 介護保険特別会計にある介護給付費準備基金の活用方法について伺う</p> <p>大綱5 市民サービス向上のための行財政改革について</p> <p>(1) 市民サービス向上が行財政改革の目的ではないのか伺う</p> <p>(2) 目のつけどころについて伺う</p>	60分
6	5	N E X T 加川康子	<p>大綱1 長期的な視点に立った財政運営について</p> <p>(1) 現下の厳しい財政状況を踏まえ、一定の制約がある中においても、将来に向けた新たな取組や挑戦を萎縮させない財政運営が重要であると考える。新たな取組や挑戦の是非を判断する際、市としてどのような考え方や基準を整理しているのか伺う</p> <p>(2) 行財政改革の取組を進める過程において、職員の意欲や将来への展望にどのような影響を与えていると市は認識しているのか伺う</p> <p>大綱2 次期大崎市DX推進計画の策定に向けた検証と、現場負担軽減の取組について</p> <p>(1) 市民目線と現行計画の評価について</p> <p>ア 現行の大崎市DX推進計画に基づく取組により、市民にとって手続の簡素化や利便性の向上といった効果が、どの程度実感として現れていると認識しているのか伺う</p>	45分

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項	持ち 時間
			<p>イ デジタルに不慣れな市民への配慮としてアナログ手続きが残っているが、行政運営の効率性という観点を踏まえ、デジタル手続きについて、市民への分かりやすさの追求をこれまでどのように行ってきたのか、所感を伺う</p> <p>(2) 現場職員の視点から見た二重構造による業務負担について</p> <p>ア 現行DX推進計画の下で、業務の二重構造や職員負担の実態を、市としてどのように把握・分析してきたのか伺う</p> <p>イ それらの課題についての所感と今後の取組を伺う</p> <p>(3) 検証時期と次期DX計画への反映について</p> <p>ア 第2期行政改革大綱に基づく第6次集中改革プランの検証と、次期DX推進計画の策定時期が重なることになるが、両計画の検証と策定をどのように連動させ、現場の実態や課題を確実に次期DX推進計画へ落とし込んでいくのか、市の考えを伺う</p> <p>大綱3 政策立案，事業推進における部局間連携について</p> <p>(1) 政策立案，事業推進における部局間連携の考え方について</p> <p>ア 複合的な行政課題に対応するため、庁内における部局間連携が必要であると考え、部局間連携とは、各部局において具体的にどのような行為や状態を想定しているのか伺う</p> <p>イ そうした部局間連携は、現在どの段階まで実現できていると認識しているのか伺う</p> <p>(2) 部局間連携を進めるための組織運営の考え方と、今後の改善について</p> <p>ア 市民からは、「関係する部署が多く、同じ説明を何度もしなければならぬ」といった声も聞かれる。こうした現状は、庁内における情報共有や認識の共有が十分でないことの表れと捉えている。市として、部局間連携が進みにくい要因をどのように整理しているのか伺う</p> <p>イ 政策立案や方針検討の段階から、部局間で前提や課題を共有し、議論できる状態を実現するために、今後どのように取り組んでいくのか伺う</p>	
7	4	公明党 山田匡身	<p>大綱1 持続可能な市政運営と財政規律について</p> <p>(1) 本市の財政運営を健全化していくに当たり、足元の対応にとどまらず、将来を見据えた取組の優先順位について、市の見解を伺う</p> <p>(2) 事業の廃止を判断するに当たり、5年後、さらにはその先の未来の大崎市の姿を見据え、どのような観点を重視していくのか、市の考えを伺う</p> <p>(3) これまで市が推進する考えを示してきたふるさと納税版クラウドファンディングについて、現在の取組状況及び今後の展開の考え方を伺う</p> <p>大綱2 若手職員の育成と働きやすい職場づくりについて</p> <p>(1) 人材不足が進む中であって、若手職員を計画的に育成し、成長ややりがいを実感しながら長く働き続けられるよう、どのような育成体系や評価・フォローの仕組みを構築していく考えか伺う</p>	30分

発言 順	議席 番号	氏名	発言事項	持ち 時間
			<p>(2) 東京・仙台などからの中途採用職員の確保を含め、多様な人材が能力を十分に発揮できる働きやすい職場を実現するため、業務の見直しや組織運営をどのように改善していくのか伺う</p> <p>(3) 近年問題となっているカスタマーハラスメントについて、職員を守る観点から相談体制の整備や組織としての対応方針、再発防止策をどのように位置づけているのか、市の考えを伺う</p> <p>大綱3 産業力強化と明るい農業政策について</p> <p>(1) 米や仙台牛をはじめとした本市農産物について、海外や首都圏を主なターゲットとした販路拡大をどのように進めるのか、また、農業を続けられる産業から儲かる産業へ転換するため、行政としてどのような支援や環境整備を行っていくのか伺う</p> <p>大綱4 医療機関の経営状況について</p> <p>(1) 令和8年度診療報酬改定について、市内医療機関、特に大崎市民病院の経営に与える影響をどのように認識しているのか伺うとともに、報酬改定を踏まえた病院としての経営改善や診療体制の見直しなど、主体的な対応をどのように進めていく考えか伺う</p> <p>大綱5 水害に強いまちづくりと防災、減災対策について</p> <p>(1) 特定都市河川指定後の流域治水の推進に向けた今後の方向性について伺う。あわせて、気候変動により水害リスクが高まる中、これまでの取組をどのように検証し、本市が優先すべき防災・減災対策をどのような考え方で整理しているのか伺う</p>	